



チャレンジ ～挑戦～



荒井小学校 学校だより

令和 6年10月 9日
第 7 号
文責：校長 星 秀文

教育目標 「かしこく、やさしく、たくましく」

迫真の演技に全校生かくぎ付け。 創立150周年記念公演「友情人形」



例年以上に厳しかった残暑も、10月に入りようやく落ち着きをみせ、少しずつ秋の気配が感じられるようになりました。子どもたちは、暑さに負けず、毎日元気いっぱいに過ごしていました。さて、創立150周年記念行事もこれまで順調に行われ、充実した2学期を送っております。9月26日（木）には、「劇団1200EN」による記念公演「友情人形」が子どもたちや地域の方々々に披露されました。戦時中、「敵性人形」と呼ばれ、全国各地でほとんどが処分されてきた「青い目の人形」のメリーちゃんが、なぜ荒井小学校には残っていたのか。公演では、メリーちゃんを処分から守った当時の先生たちの苦悩を迫真の演技で子どもたちに表現してくれました。また、荒井小学校の子どもたちも7名参加し、今までの練習の成果を堂々と披露することができました。今回の劇をとおして、青い目の人形にまつわる歴史を子どもたちも知ることができ、創立150周年にふさわしい、すばらしい公演となりました。

今回の公演の様子は、10月26日（土）の学習発表会及び創立150周年記念式典の日に、会議室の記念写真展会場でも、録画上映いたします。興味のある方はぜひご覧ください。



迫真の演技に子どもたちはかくぎ付け！劇の世界にみんな引き込まれていました。

全員で勝ち取った「総合3位」！～市陸上競技大会～



10月2日(水)に「第43回福島市小学校体育大会陸上競技大会」が、誠電社WIND Yスタジアム(信夫ヶ丘陸上競技場)で行われました。6年生の選手の皆さんは、これまでの練習の成果を十二分に発揮して、各種目で優勝者、入賞者をたくさん出しました。特に、女子4×100mリレーでは、ダントツで優勝を飾りました。

今回出した「58秒55」はA・B両ブロックを通じて



トップの記録でした。総合成績は「第3位」と見事な結果。

この成績は、選手のみなさんはもちろん、当日応援を送った6年生のみなさん全員の力によるものです。6年生のみなさん、本当におめでとう！

大会結果

Aブロック

総合第3位

荒井小学校

男子100m走 第8位 嶋原 涼太
 80mハードル 第3位 難波 海翔
 ボール投げ 第6位 三浦 颯雅
 4×100mリレー 第5位
 嶋原 涼太 難波 海翔
 三浦 颯雅 星 陸斗

女子100m走 第2位 荒井 麻心
 80mハードル 第2位 佐藤 優妃
 800m走 第1位 柴山 結衣
 ボール投げ 第4位 渡邊 鈴夢
 第6位 菅野心々菜
 走高跳び 第5位 半澤 莉果
 4×100mリレー 第1位
 菅野心々菜 柴山 結衣
 佐藤 優妃 荒井 麻心

筋肉で日本を持ち上げろ！

～パラパワーリフティング選手との交流～

10月4日(金)3・6年生の子どもたちが、パラパワーリフティングで活躍している渡邊和幸選手との交流会を行いました。これは、福島市が主催する「パラアスリート派遣事業」によるものです。3年生は国語の学習で、6年生は総合的な学習で、パラリンピックや障がい者についての学習を行っていることで実現しました。「パラパワーリフティング」とは、下肢に障がいがある方が行うベンチプレス1種目の競技です。使う筋肉は、胸・肩・三頭筋。腕力だけの勝負です。2018年のリオパラオリンピックでは最重量級の選手が310キロという世界最重量を持ち上げました。これは同条件の健常者の記録も超えるそうです。

実演では、渡邊選手は、自分の体重よりも重い130kgのバーベルを持ち上げました。子どもたちからは「すごい！」「あんなに重いものは自分は持ち上げられない」と驚きの声。その後、子どもたち一人一人が20kgのバーベル上げに挑戦しました。友達の声援と、スタッフの補助を受けながら、全員がその重さを持ち上げることができました。20kgでも思った以上に感じる重さから、渡邊選手が持ち上げた130kgがいかにすごいか、改めて実感していました。さらに、先生方やその場で取材に来ていた記者の方も、パワーリフティングにチャレンジ。子どもたちの声援はさらに大きくなり、体育館いっぱい響いていました。事故で足が不自由になった渡邊選手ですが、「どんな人でも、やればできる。チャレンジを続けてください。」と子どもたちにエールを送ってくれました。最後に記念品をいただき、渡邊選手の力こぶを実際に触れさせていただきました。その腕の太さと、筋肉の硬さにまたまたびっくり！「うわー太い！」「硬い！やば！」パラアスリートの凄さに、またまたびっくりしたようでした。

